

福岡県河川整備基本方針検討委員会 議事概要

○日 時 令和6年2月1日(木) 13時10～15時10分

○場 所 福岡県 大牟田総合庁舎 2階大会議室

○議 題

- (1) 「福岡県河川整備基本方針検討委員会」設置要綱の改定について
- (2) 諏訪川(関川)水系河川整備基本方針案について

議事要旨

- (1) 「福岡県河川整備基本方針検討委員会」設置要綱の改定について
 - ・事務局より設置要綱の改定案について説明を行い、委員の了承を得られた。

- (2) 諏訪川（関川）水系河川整備基本方針案について
 - ・事務局から配布資料に沿って説明後、各委員から意見、質問をいただいた。
 - ・主な意見、質問は以下のとおり。

<主な質問・意見> ○：委員 ●：事務局

○委員

資料p. 8の環境調査について1k～7kで調査されていないのはなぜか。意図的に実施していないのか。その区間について、整備計画までに再度調査するなど検討して欲しい。

また、20年前に2k～3k付近で調査した際に「ニッポンバラタナゴ」「カネヒラ」「カゼトゲタナゴ」が確認されている。これらは、重要な種であるため以前生息していたことを明記してもらいたい。

●事務局

調査は、各県毎に実施しており代表区間を調査しております。再調査については、熊本県と相談します。

過去に生息が確認されている生物の本文への記載については検討します。

○委員

遊水地の整備に係る具体的な記述は、整備計画策定時に改めて検討することだろうが、タナゴ類の保全のため、遊水地に水が常時溜まるような場所を整備を考えてほしい。

●事務局

具体的な整備内容の検討は、河川整備計画策定時に検討します。

○委員

現地調査の際に聞いたが、下流部に景観に考慮した手すり（柵）等を含む護岸を整備した実績があることは紹介した方がよい。

●事務局

意見を踏まえて本文修正を検討します。

○委員

現地で見たとときに諏訪川橋梁は上流からの眺望が美しかった。資料p. 4の写真は下流からなので修正して欲しい。併せて、岩本橋の写真も古いので最新のものにしていただきたい。

もっとそのものが美しく見える写真を使うなど資料を工夫をしていただきたい。

●事務局

配布資料は委員会での説明のためのものであり公表はしないが、次回以降は資料に用いる写真に関して考慮いたします。

○委員

アーチ橋を保全するかたちで、分水路などを整備していること本文に記載してほしい。

●事務局

本文のp. 1に岩本眼鏡橋について記載をしているが、意見を踏まえて修正を検討します。

○委員

資料p. 11水質について、BOD以外のSSや大腸菌群は調査していないのか。調査結果が分かれば基準値内であるか教えていただきたい。

●事務局

BOD以外にも水質調査で確認をしている。下流部での大腸菌群以外の調査結果は基準値内です。

○委員

本文 p. 2 の「河川環境の概要」として、三井水門の上下流で河川環境が大きく異なるので、そのことがわかるような書き方にしたほうが良い。

●事務局

本文p. 2に三井水門から下流が感潮区間であると記述しておりますが、意見を踏まえた修正を検討します。

○委員

資料のp. 7から生物をまとめているが、今日の現地調査で下流部にはカモ類やオオバンがいた。資料や本文にそれらが記載されていないのはなぜか。

●事務局

確認します。

○委員

本文p. 1に植林の状況（杉・ヒノキ等がみられる）記載されているが何の意図で記載しているのか。

●事務局

本文の指摘部分は、流域の状況として植林の分布を記載しています。

○委員

この流域では伐採が行われているのか。森林の管理状況がわかるのであれば一言状況を入れてほしい。

●事務局

流域の森林管理、伐採状況については確認します。

○委員

本文p. 2で上流部に「ヤマトシマドジョウ」が記載されているが、中流部に「アリアケスジシマドジョウ」も生息している。これらは生息域が被っているはずなので、表現を「シマドジョウ類」に修正したほうがよい。p. 4以降の環境の整備と保全では「シマドジョウ類」と記載すべき。

●事務局

意見を踏まえて修正について検討します。

○委員

諏訪川では以前、「ニホンバラタナゴ」等も確認されているので、本文内の「ヤリタナゴ」ではなく「タナゴ類」に修正した方がよい。

●事務局

意見を踏まえて修正について検討します。

○委員

資料p. 2の図でセグメント区間の記載が違うがどれが正しいのか。

●事務局

資料の誤りです。資料p. 2の上段に記載しているものが正しいものとなります。

○委員

本文で上流、中流、下流域の区分が不明確だ。感潮区間が下流域として記載した方が分かりやすいと思うのだが。

●事務局

上流、下流の区分は河川勾配などを踏まえて設定しているが、区分の示し方については検討します。

○委員

本文p. 5に中流部の対策について「水際部の保全・創出」とあるが、それだけでは不十分だ。生物の生息に大切な「瀬と淵の保全など」も入れるべき。

●事務局

意見を踏まえて本文の修正を検討します。

○委員

遊水地を整備するのであれば生物が生息できる湿地環境となるよう努めますなど記載すべきではないか。

●事務局

遊水地の具体的な計画については、河川整備計画策定時にあらためて検討します。

○委員

環境調査結果を見ると「アリアケスジシマドジョウ」が上流部で確認されており、河川以外の水田につながる水路などにも生息していると考えられる。生息環境を守るために河川と陸域の横断が重要である。

●事務局

水路とのつながりに関しては、本文p. 4に「横断的連続性の確保をはかること」を記載しております。

○委員

本文4ページに「水域と陸域がつながる」とあるが、「陸域」が田畑でのことであれば分かりにくいので、「陸域（水田等）」にした方がいいのでは。県の職員が陸域がどこまでか理解できるようにしては。

●事務局

わかりました。意見を踏まえて修正をするか検討します。

○委員

本文 p 4の「最大クラスの津波」とはどれくらいなのか。

●事務局

福岡県のHPで津波浸水想定を公表しており諏訪川流域では最大で0.3m程度となっています。

○委員

本文で河川津波を書いているが何か対策をするのか。

津波高が実際は高潮対策に包括されるならば、ここまで詳しく記載する必要はないのでは。高潮対策をすることで津波対策になることが判るように記載すればよいのでは。

●事務局

津波対策については、国から規模の大小にかかわらず記載するように協議でうけている。本文の記載内容については、国土交通省に相談しながら検討します。

○委員

本文p. 4の流域治水の記述で文章が分かりにくいので「流域で連携した」に修正すべき。

●事務局

意見を踏まえ修正します。

○委員

本文p. 4「気候変動の影響により」からの一文が長く分かりにくい。河川整備と流域治水でわけられるのでは。

●事務局

意見を踏まえ修正します。

○委員

遊水地の計画規模はどのように決めたのか。計画降雨のみで検討をしているのか。

●事務局

検討対象の降雨すべてにおいて不等流計算モデルにより解析を行い、必要となる洪水調節容量を設定をしています。

○委員

基本方針で検討している整備メニューを実施した場合に、令和2年7月洪水では氾濫が発生するのか。

●事務局

基本方針で検討した、遊水地+河道改修の整備を行った河道で令和2年7月の降雨を検証すると堤防満杯で流下可能であることを確認しています。

○委員

仮に基本方針の整備メニューを実施したのちに令和2年7月と同じ洪水があった場合に、遊水地にはどのくらいの時間水が溜まっているのか。

●事務局

貯水する時間については、検討していません。

○委員

資料p. 39に正常流量をグラフで示しているが、維持流量が足りないところでは増やすのか。

●事務局

正常流量は、低水管理上の必要な値として推定しています。資料の図中では維持流量が不足している箇所がありますが、ダムなど供給できる施設が無いため今後、資料収集等に努めるとしています。

○委員

現地を見た際にも、河川と人々が交流できる場所が少ないと感じました。遊水地を整備するのであれば教育や人々のふれあいにも活用していくような場所となるように検討していただきたい。

●事務局

わかりました。本文について修正を検討します。遊水地の具体的な整備内容については、河川整備計画策定時に検討いたします。

○委員

本文のp. 5の「人と河川のふれあいに」について、世界遺産もあることから歴史的環境を活かすこと、上流、下流の熊本県と福岡県が河川を利用した交流に努めることを記載すべきだ。

●事務局

意見を踏まえて本文の修正を検討します。

○委員

本文p. 4の流域治水について、流域内の土地利用の規制をするなど記載を考えてほしい。

●事務局

現時点で、流域治水の取組として土地利用の規制についての記載は難しいと考えます。

○委員

下流で世界遺産に配慮した護岸を整備していたりしているのが、基本方針でパラペットを整備するようにしているが最低限の整備にするなど景観に配慮していただきたい。

●事務局

本文p. 4に河川環境の整備と保全に良好な河川環境の保全・創出を図ることを記載し、景観に配慮することとしている。

○委員

遊水地の整備位置の選定は、浸水実績などを踏まえた昔からの土地利用などを考慮して決めたほうがよい。

●事務局

資料p. 32、33の平面図に遊水地の位置を図示していますが、遊水地整備の位置の選定は整備計画策定時に行うこととしています。

○委員

この川は世界遺産があることから景観に配慮した川づくりをしていくと記載すべきだ。

●事務局

本文p. 4に河川環境の整備と保全に良好な河川環境の保全・創出を図ることを記載しているが、意見を受け表現については検討します。